

各公立高等学校長 様

学校支援課長

「ネット上のいじめ問題に対する喫緊の提案」の冊子他の送付について（依頼）

日ごろ、学校においては、児童生徒の共感的な理解に徹し、自己指導能力を育てる指導の充実に努めていただいているところですが、先般は携帯電話にかかわる指導の一環として、保護者向けリーフレット「子どもたちのサイバーテロ」の配布に御協力いただきありがとうございました。

さて、みだしのことについて、別添写しのとおり、文部科学省初等中等教育局児童生徒課長から依頼がありました。「ネット上のいじめ」の防止に向けて、「子どもを守り育てる体制づくりのための有識者会議」からの冊子及びリーフレットが活用されるよう、ご指導願います。

なお、各高等学校へは、学校分とともにPTA分を併せて送付しますので、各学校において、PTA役員の方に渡し、協力と理解をいただくよう願います。

記

（送付文書等）

- 1 「ネット上のいじめ問題」に対する喫緊の提案について
（平成20年2月12日付け 19初児生第29号）
- 2 冊子『「ネット上のいじめ問題」に対する喫緊の提案について』
 - ・学校分 1冊
 - ・PTA分 1冊
- 3 リーフレット「お父さん！ お母さん！
お子さんのケータイ・ネットの利用は大丈夫ですか？」
 - ・学校分 5冊
 - ・PTA分 5冊

（その他）

次の文部科学省ホームページからでも、冊子・リーフレットを入手できます。

- 1 冊子『「ネット上のいじめ問題」に対する喫緊の提案について』
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/040/toushin2/071227.pdf
- 2 リーフレット「お父さん！ お母さん！
お子さんのケータイ・ネットの利用は大丈夫ですか？」
http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/20/02/08020707/001.htm

課名担当名	学校支援課 生徒指導担当
担当者氏名	塩谷 章
電話番号	(058)272-1111 内線 3698
FAX番号	(058)278-2822
担当E-mail	enya-akira@pref.gifu.lg.jp



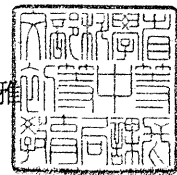
19 初児生第29号
平成20年2月12日

各都道府県教育委員会担当課長
各市町村教育委員会担当課長
各都道府県私立学校主管課長
附属学校を置く各国立大学法人学長
社団法人日本PTA全国協議会会長
社団法人全国高等学校PTA連合会会長
社団法人全国国公立幼稚園PTA連合会
社団法人全国国立大学附属学校PTA連合会

殿

文部科学省初等中等教育局児童生徒課長

木岡 保 雅



(印影印刷)

「ネット上のいじめ問題」に対する喫緊の提案について

携帯電話のメールやインターネットを利用した、「ネット上のいじめ」が、子どもたちの間に急速に広がり、最近問題となっております。文部科学省においては、こうした子どもたちを取り巻く環境の変化に伴う「新しい形のいじめ問題」への効果的な対応策の検討が急務であるという判断から、平成19年9月に、池坊副大臣主催の「子どもを守り育てる体制づくりのための有識者会議（別添2）」を再開し、特に、子どもたちの携帯電話やインターネットの利用の実態の把握にできる限り努めるとともに、「ネット上のいじめ」の防止に向けての有効な取組について検討を行ってきたところです。そして、昨年末に、現段階において早急に取り組むべき課題について、特に保護者の皆様方に対して、4つの提案をとりまとめました。

このたび、同提案に関する冊子と広報用リーフレットを作成いたしましたので送付いたします。貴職におかれては、本提案の内容を参考として、本冊子等を活用いただき、「ネット上のいじめ問題」の防止等に向けて適切な対応ができる学校・地域社会づくりにより一層努められますようお願いいたします。

※ 各都道府県・市町村教育委員会担当課、都道府県私立学校主管課、国立大学法人におかれましては、大変お手数ですが、冊子及びリーフレットを、所管の幼稚園、各学校へ送付方よろしく願いいたします（別添1参照）。

その際、各校（園）の分とともに、PTAの分を併せて送付していただき、各校（園）からPTAに冊子及びリーフレットをお渡しいただきたい旨お伝え願います。

本件担当： 児童生徒課 生徒指導企画係

電話： 03-5253-4111（内線 3055）

F A X： 03-6734-3735

E-mail： jidou@mext.go.jp

(別添1)

各組織への冊子及びリーフレットの割り当て部数は以下の通りです。

組 織	冊 子	リーフレット
都道府県・指定都市教育委員会 (1部署あたり)	1部	100部
市町村教育委員会	1部	10部
幼稚園、小・中・高等学校、 中等教育学校、特別支援学校 (1校(園)あたり)	1部	4部
P T A組織	1部	4部

※各都道府県、市町村への配布部数は、「体験活動事例集」配布の際、各都道府県より申請のあった数を参照しております。例えば、義務教育課、高校教育課、特別支援教育課の分として3部を申請されていた県教委は、冊子1部×3部署＝3部、リーフレット100部×3部署＝300部が割り当て部数になります。

※各都道府県、市町村から各校(園)に送付する際は、各校(園)の分とともに、P T A組織の分も併せて送付していただくため、各校(園)に送付する部数は、冊子2部、リーフレット8部となります。

「子どもを守り育てる体制づくりのための有識者会議」について

平成19年9月27日

1 趣 旨

子どもを守り育てるための総合的かつ具体的な取組を進める体制づくりのため、各方面の専門家の方による審議・研究を行うこととする。

いじめを理由とする自殺事件の発生や、インターネット上でのいじめ等が大きな問題となっていることから、いじめ・暴力行為等問題行動の実態や、携帯電話やインターネットの活用の在り方等について審議・研究を行い、対策の充実に資する。

2 実施体制

実施に当たっては、池坊副大臣の指揮の下、関係部局が協力して取り組むものとする。

3 有識者メンバー

座長	梶田 叡一	兵庫教育大学長
委員	赤田 英博	(社)日本PTA全国協議会長
//	馬居 政幸	静岡大学教育学部教授
//	國分 明男	(財)インターネット協会副理事長
//	小正 和彦	横浜市立つつじが丘小学校長
//	嶋崎 政男	東京都立川市立立川第一中学校長
//	下田 博次	群馬大学教授
//	鳥飼 玖美子	立教大学大学院教授